

2026 年度 友愛学舎 119 期生 友愛学舎募集要項

目次

1	友愛学舎とは	1 p
2	友愛学舎の運営	2 p
3	友愛学舎の活動	3 p
4	学期期間中の長期留学・海外でのインターンについて	6 p
5	施設・設備	7 p
6	料金	6 p
7	アクセス	7 p
8	募集及び応募概要	8 p
9	入舎手続き	9 p
10	書類送付先及びお問合せ	9 p

1. 友愛学舎とは

友愛学舎は 1908 年早稲田大学の創始者大隈重信侯の要請に応え、安部磯雄先生のすすめのもと、アメリカ人宣教師ベニンホフ博士によって創立されました。友愛学舎は聖書を共に学ぶことを通してイエス・キリストの精神に触れ、それを基盤とした共同生活を体験することによって豊かな人間形成を目指す場であり、また世界に開かれた環境の中で国際的感覚を育てる場でもあります。

■ 友愛学舎舎章

友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。
(ヨハネによる福音書 第 15 章 13 節)

■ 友愛学舎創立の精神

「友愛」とは単なる友情ではなく、舎章（ヨハネによる福音書 第 15 章 13 節）に示されている「その友のために自分の命を捨てるキリストの愛」を意味しており、「学舎」とは単なる寄宿舎ではなく、学生は学ぶことをもって本分とすることを意味しています。この学舎に集うひとりひとりが互いに仕え合い、共に生きる中で研鑽を重ね、人生の求道者として生きようとする、それが友愛学舎の精神です。時代の変遷の中にあっても常にこの精神に立ち返り、自覚的な共同生活を営みます。

■ 友愛学舎の目的

友愛学舎はキリスト教の伝統をもつ早稲田奉仕園の活動の中核であり、早稲田奉仕園の責任と指導の下に担当者と学生の協力によって運営されます。舎生は早稲田奉仕園の会員としての自覚を持ち、その諸活動に積極的に参加することを期待されています。

したがって、舎生は友愛学舎創立の精神に則り、共同生活を積極的におこない、友愛学舎及び奉仕園の活動に自発的に参加し、これらの交わりを通して自己形成を志し、大学生活の充実をはかります。

2. 友愛学舎の運営

■舎生による自主的な運営

友愛学舎は自主性を重んじ、日々の生活のルールや学舎の活動は舎生自身で話し合い、実施していく学生寮です。このため、寮運営には舎生一人一人に積極的な参加が求められています。

■委員会制度

自主的な運営を円滑に進めるため、委員会制度を取り入れています。舎生は在舎期間に必ず一度は委員を担当することが義務付けられています。委員の任期は9月から翌年8月までとなり、通常2年時に就任します。

本年度の委員会は、委員長、議長、会計で構成されます。

- ❖委員長は、友愛学舎内でリーダーシップをとると共に、奉仕園等、寮外部との窓口となります。また、友愛学舎生を代表する責任者です
- ❖議長は、舎生会及び新入舎生面接の進行役を務めます。
- ❖会計は、寮内の収支を管理し、奉仕園に必需品についての予算を交渉するほか、舎生から集める友愛基金を管理、運営します。

■本年度友愛学舎委員会スローガン

私たち 2026 年度友愛学舎委員会は、舎生一人ひとりが安心して生活でき、深いつながりを実感できる寮づくりを目指します。そのため、「一枚の布」と「風通し」という二つのキーワードを軸に活動していきたいと考えています。

現在、友愛学舎では 11 人の舎生が共に生活をしています。寮という環境は、異なるバックグラウンド、考え方、そして性質をもつ個人が共に集団生活をする空間であり、小さな社会でもあります。また、それぞれの舎生が協力の意思を持っていることが最も重要です。各舎生の進行方向がバラバラになり、協力の姿勢が軽んじられると、寮としての一体感が失われてしまいます。私たちが理想とする寮は、全ての舎生が同じ目標を持って団結することのできる環境です。その環境の実現に向けて、委員会は以下のことに取り組んでいきます。

「一枚の布」

はじめに、私たち委員会は舎生間の交わりを活発化させていきます。寮生活では、生活を共にすることで相手への気遣いの心が培われていきます。その一方で、常に気を張った状態になりかねず、舎生との関わりを避けてしまう可能性があります。このように、舎生との交流が失われることを防ぐため、委員会は寮全体を見渡しながら舎生を気遣い、繋がりを促進していきたいと考えております。布は、縦と横の糸が合わさることによって形成されます。舎生それぞれを一本の糸として捉えると、それらは個性が反映された多様な色や太さの糸となるでしょう。これらの糸を織り合わせることによって、個性が

反映された友愛学舎という「一枚の布」が作り出されます。

「風通し」

しかし、異なる性質をもつ糸を無理に織り合わせようとする、絡まってしまい、一枚の布にはなりません。実際に布を織るときには、縦糸と横糸を少し引き離して隙間を生むことで、風通しを良くし絡まりを防いでいます。これは舎生間においても同様であり、多種多様な価値観や考え方が存在している寮では、意見が対立することは避けられません。大切なのは、対立する意見を反動的に打ち返すのではなく、受け止め、理解しようとする姿勢です。その際に自分の意見を再構築していくことが求められ、舎生同士が考えていることを安心して伝え合うことのできる信頼感が必要となってきます。この過程こそが、糸を引き離すことで生じた隙間に風を通すことであると考えます。私たち委員会は舎生が安心して対話し、真の意味でのつながりを築いていくことができるよう支えていきます。

上記のことを踏まえて、私たち委員会は、舎生ひとりひとりの声を丁寧に聞き取ることにより力を注ぎます。具体的な取り組みとしては、委員会が話題を提供し朝の会での積極的な交流を促します。また、委員会と直接対面して意見を伝えることが難しい場合に備えて「悩み相談フォーム」という新たな窓口を設け、委員会と舎生の円滑な情報共有に取り組みます。さらに、委員会内の密な連携を目指す為こまめなミーティングを行います。

こうした取り組みを通じて、委員会は舎生との意思疎通を促進し、居心地の良い、安心して過ごせる環境の構築を目指します。私たちは「一枚の布」と「風通し」というキーワードのもと、友愛学舎という模様を生み出す機織り機のような存在でありたいと考えています。そして、一本一本の糸を結び、模様を生み出しながら友愛学舎という小さな社会を支えて参ります。受け入れるだけ、否定するだけではなく、多様な意見を柔らかに交差させ、織り交ぜながら友愛学舎を運営していく所存です。

友愛学舎担当スタッフ

公益財団法人早稲田奉仕園 スタッフ 伊藤貴則

日本基督教団早稲田教会 古賀博牧師

米国福音自由教会宣教団 中澤重光宣教師

3. 友愛学舎の活動

友愛活動の目的は活動を通じてお互いに学びあうことです。友愛活動は原則として授業、宗教活動の次に優先されます。

ただし舎生が真剣に考えて行うそれぞれの活動に対して、友愛学舎委員会はサポートしていきたいと思います。そのため友愛活動と舎生それぞれの活動が重なってしまう場

合は舎生全員の了承を得ることを条件に、舎生それぞれの活動を優先できることとします。原則として、友愛活動は長期休暇中には行われません。

※実際にあった例

- ・災害被災地支援のために朝の会を休む
- ・就職活動
- ・教育実習

■定期的な活動

舎生会（月 1 回）

舎生全員の出席の下、委員会の運営で開かれる寮会議であり、議長が進行役を務めます。これからの行事の内容や予定、学舎内での生活で気づいたこと、全員で話した方がより良い生活になると思われることを話し合います。舎生一人一人の意見が大切であるから安易に妥協せずにひとりひとりが納得するまで（原則は全会一致）話し合われます。ここでの決定事項は最高議決であり、決議に参加したもの全員に責任が伴います。そのため舎生ひとりひとりの積極的な参加（発言）が求められます。

朝の会（月～金 毎朝）

学期期間中の平日は毎朝全舎生出席の下、朝の会を行います。舎生による聖書発表、学生発表、ディスカッション、3L（グループ発表）、礼拝そして牧師を招いて話を聞くなどの時間を 30 分設け、その後皆で朝食をとります。

聖書発表は年に舎生それぞれ 3～4 回発表を担当します。聖書発表では讃美歌を歌い、聖書の該当箇所を輪読し、そして発表を行います。舎生の聖書への理解をより深めるため、舎生が行う聖書発表と関連した内容の話を牧師から聞きます。また、クリスマスやイースターなどのキリスト教に関する行事の時期にはそれに見合った箇所を委員会から担当者に割り当てます。

学生発表では年に 1～2 回舎生が自由にテーマを決めてそれについて発表を行います。舎生の興味関心をほかの舎生に伝える場として活用します。

ディスカッションでは年に 1～2 回舎生が自由にテーマを決めてそれについて 2～3 グループに分かれて討論を行います。

礼拝は毎月第一金曜日に礼拝堂にて行われます。讃美歌、牧師による説教などを通してキリスト教の祈りの形態にふれます。

■年間の活動（予定）

入舎式（2026 年 3 月 20 日前後（未定））

入舎式をもって新舎生の友愛学舎での生活がスタートします。友愛舎生のほか、早稲田奉仕園の役員、職員や友愛OB・OGも参加します。

オリエンテーションキャンプ（2026 年 3 月 23 日～24 日）

入舎式で新たに迎えた新入生と在舎生の交流のために一泊二日で宿舎に滞在し寮のオリエンテーションを行います。在舎生全員と職員が参加します。

フライデーナイト（4月頃）

奉仕園が主催する、他の奉仕園会員・留学生と交流することを目的としたパーティー。留学生たちとの交流ができるよい機会です。友愛舎生は会場の準備から最後の片付けまで参加します。

三学舎交流会（5月～6月頃）

近隣のキリスト教の学生寮とともにスポーツ、食事などを通してそれぞれの寮の活動を知り、同時に友愛学舎の活動を知ってもらうことで、自分達を客観的に見る機会としています。お互いに刺激し合い、交流のきっかけ作りとなっています。

フライデーナイト：ジャパニーズナイト（9月頃）

年2回のフライデーナイトのうち、9月は友愛学舎が企画・進行を行う、9月入寮の留学生のためのウェルカムパーティーです。舎生による日本文化の紹介などを通じて、留学生・奉仕園関係者と交流を図ります。

創立記念礼拝（11月3日前後の日曜日）

友愛学舎が開設された11月3日を記念して、早稲田教会の日曜礼拝を創立記念礼拝として行っています。当日午後は早稲田奉仕園OB・OGとの交流を目的としたパーティーもあり、その年度の活動を紹介する機会にもなっています。

奉仕園クリスマス会（12月第2土曜日）

奉仕園の主催するクリスマスパーティーです。友愛学舎は例年、料理と劇を担当しています。

面接（1月～3月）

入舎希望者に対して行われる面接です。舎生全員の出席の下、議長が進行役を務め、奉仕園スタッフも同席します。

卒舎式（3月20日前後（未定））

卒舎する4年生を送り、1年間の活動を締めくくります。早稲田奉仕園の理事、職員、OB・OGも参加します。また、卒舎生追い出しコンパも行われます。

- 上記の活動以外に、母体団体である早稲田奉仕園が開催しているプログラム（奉仕園活動）が多数あります。原則としては自由参加ですが、これらのプログラムに参加することは、視野を広げ、自己の成長につながるので、積極的に参加することが望まれます。下記の既存の奉仕園活動以外にも、奉仕園を通じて新しい活動を始めることも可能です。

日中韓リーダーシッププログラム

日本、中国、韓国の大学生が、毎年それぞれの国に集まる国際交流プログラムです。

Study Hall	「近いこと、遠いこと、近くて遠いことを学ぼう」をテーマに、早稲田奉仕園で実施する 4 つのプログラムカテゴリー(「世界を知る」、「ことばを学ぶ」、「アートを学ぶ」、「いのちと社会を学ぶ」)につながる講座です。
野宿者支援給食活動	早稲田教会と協働で、野宿を余儀なくされている方々へ食事を提供するボランティア活動です。貧困や生存権の問題を身近に感じることを目的としています。
年中行事を楽しむ会	留学生とともに季節ごとの日本の文化を楽しみます。

- これらの予定は状況によって変更される場合があります。
- 奉仕園活動の詳しい内容は早稲田奉仕園のホームページを参照ください。
<https://www.hoshien.or.jp>
- 友愛活動の様子は友愛学舎ブログ、X(アカウント名：早稲田奉仕園友愛学舎(学生寮))、Instagram も参照してください。
ブログ note ID:youi1908
<https://note.com/youi1908>
X @you_il69
Instagram you_il69
Facebook 友愛学舎
<https://www.facebook.com/profile.php?id=100086322565489>

4. 学期期間中の長期留学・海外でのインターンについて

原則として舎生は、友愛学舎での 4 年間の滞在が求められます。友愛学舎創立の精神に基づく、社会貢献を志す学びの過程で留学やインターンが必要となった場合、それらは原則として長期休み中に行うものとします。ただし、例外として、学期期間中にそれらが必要となった場合、舎生との相談の上でその検討をすることが可能です。目的、期間、地域、所属する機関、居住先の詳細を明確に提示し、舎生会での承認と奉仕園スタッフの承諾を得る必要があります。

学期期間中の留学や海外でのインターンは、3 ヶ月から 1 年間以内とし、帰国後、友愛学舎に返ることが前提となります。留学、またはインターン中も舎生としての自覚を持ち、月に一度および帰国後の活動報告が義務付けられます。友愛学舎に在寮できる期間は、留学、インターン期間を含めて最長 4 年間です。

5. 施設・設備

建物：鉄筋コンクリート 4 階建（1988 年竣工）の 2 階～3 階

部屋：全員個室（洋室 6 畳）2 階～3 階（男女同フロアー）

設備：エアコン、机、電気スタンド、イス、たんす、ベッド、本棚、冷蔵庫、
WI-FI（利用料は設備費に含まれます）

共用施設：風呂、トイレ、談話室、キッチン（IH コンロ）、電子レンジ、炊飯器、テレビ、洗面台（2 部屋に 1 つ）、洗濯機（100 円/1 回）、ピアノ（ロビーに設置）

6. 料金

舎 費：25,000 円/月

光熱水費：13,200 円/月

施設サービス費：9,900 円/月

朝食費：1 食 550 円程度（学期期間中の平日のみ）

登録費：5,500 円/年

入寮費：100,000 円（入舎時のみ）

●以上は 2025 年度以降のものであり、随時改訂されることがあります。

7. アクセス

東京都新宿区西早稲田 2 - 3 - 1

●東京メトロ東西線 早稲田駅より徒歩 5 分

●東京メトロ副都心線 西早稲田駅より徒歩 10 分

●J R 山手線 高田馬場駅より徒歩 20 分

〃 都営バス「早稲田正門前行き」西早稲田下車徒歩 3 分

早稲田大(早稲田) 徒歩 10 分

早稲田大(西早稲田) 徒歩 15 分

早稲田大(戸山) 徒歩 5 分

学習院大(目白) 自転車 15 分

東京理科大(神楽坂) 15 分

法政大(市ヶ谷) 20 分

明治大(駿河台) 25 分

立教大(池袋) 30 分

上智大(四谷) 30 分

青山学院大(青山) 35 分

清泉女子大(五反田) 40 分

慶応大(三田) 45 分

8. 募集及び応募概要

募集要項

応募前に必ず ご確認ください	次の4項目が入舎のために同意必要事項であり、面接の初めに友愛学舎委員会委員長より同意の確認させていただきます。 1. 原則、友愛活動は授業、宗教活動の次に優先させる。 2. 原則、舎生は友愛学舎で4年間在舎する。 3. 友愛学舎委員会を1年間担う。 4. 学期期間中の長期留学・海外でのインターンについて、6ページに記載の規約に従う。
応募資格	4年制大学（通学が1時間以内程度）の学部に入學予定の新1年生、新2年生で、4年間（新2年生は3年間）在舎する意志をもち、友愛学舎創立の精神に賛同する者。
募集人数	新1年生4名、新2年生2名
選考方法	願書及び課題作文提出後、面接試験
出願期間	面接日の1週間前消印有効（間に合わない場合は対応いたします）
出願方法	入舎課題入舎希望者は友愛学舎または早稲田奉仕園事務所の問い合わせ先に連絡し、願書と以下の課題を郵送またはメール添付してください。また、面接には願書をお持ち下さい。
面接日	前期日程：1月24日、25日 後期日程：3月7日、8日
結果発表	合否によらず面接終了後数日以内に本人宛に連絡します。なお、結果の理由、詳細はお答えできません。

入舎課題

I 作文課題

以下の①～②について、それぞれ自由に書いて下さい。（Word、手書きどちらでも可）

- ① 今までの経験や体験を踏まえて、これからの大学や寮での共同生活をどのように過ごしていきたいですか？（600字程度）
- ② 【ヨハネによる福音書第15章】全体を読んであなたはどのようなことを感じましたか？そして聖書を学ぶ意義についてどう考えますか？（400字程度）

II 面接課題

面接は友愛学舎にて、在籍中の舎生とスタッフが同席し、志望理由やこれまで力を入れてきたことについてお聞きします。時間は1時間程度。

9. 入舎手続き

- 入舎決定の際は本人の誓約書および保証人（同居家族 1 名及び他 1 名）の確認書の提出が必要となります。
- 入寮日は 2026 年 3 月 20 日以降を予定しています。（日時応相談）
- 3 月 20 日前後に入舎式をおこないます。また、3 月 23－24 日に 1 泊のオリエンテーションキャンプに参加していただきます。

10. 書類送付先及びお問合せ

- 早稲田奉仕園事務所（担当：伊藤、千）【9:00～17:00】
住所：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-1
電話：03-3205-5402
email：dormitory@hoshien.or.jp